

女たちは手を携えて共に進む

木川田 道子

時は少し遡る。2000年12月のある朝、私は当時、東京で開催されていた女性たちによる民衆法廷「日本軍性奴隷制を裁く女性国際戦犯法廷」の会場、九段会館の前に立っていた。諸般の都合で東京行きはとっくに断念していたはずなのに、どうしてもその歴史的な場に居合わせなくては、という思いに駆られ、夜行バスに飛び乗ってしまった。日本軍によって「慰安婦」とされた女性たちが声を上げたのは1990年代。「戦争だから」と見逃されてきた戦時性暴力。

法廷を傍聴することは叶わなかったが、合間に開かれた「現代の紛争下の女性に対する犯罪」をテーマにした国際公聴会に参加することができた。東ティモール、グアテマラ、コソボ、沖縄など14の国・地域の、性暴力などの被害に遭った女性たちが、時に嗚咽で中断しながら辛い体験を話してくださった。それぞれの証言の後、司会を務めていた女性が証言者の肩を抱き、しばらくそうやって2人で立ちつくしていた姿が忘れられない。あれから15年。戦後70年の日本で、そして世界で、女性達の尊厳を回復する闘いは続いている。



さて、昨年秋、私は日韓聖公会宣教協働30周年記念大会（於 濟州島）に参加し、予定になかった女性たちによる協議の場を設けてもら

って一同で話す機会をいただいた。

両国共にGGI（※）は下位。女性を巡る現状に共通することは多い。大会声明文には、女性たちが学び合い協働していくことを目指し、今後定期的に交流することや、意思決定機関における女性の割合を少なくとも30%とする目標を盛り込むことができた。多様な声が

響き合う共同体が未来を拓くと信じている。私たちは連帯しつつ、共に進んで行きたい。

（※）GGI：ジェンダーギャップ指数。世界経済フォーラム（WEF）が毎年各国の政治参加、経済参加、健康、教育の分野におけるジェンダーの格差を指数に表して公表している数値。2014年は142カ国のうち日本104位、韓国117位。（参照：The Global Gender Gap Report 2014）

（きかわだ みちこ 日本聖公会 女性に関する課題の担当者）

韓国・歴史教科書国定化の動きと闘い

主はわたしに言われた。「若者にすぎないと言ってはならない」
(エレミヤ書1章7節)

香山洋人

韓国社会を大きな混乱に陥れているのが歴史教科書問題だ。現在、韓国には日本のような教科書検定制度があるが、2013年度の検定に合格した「教学社版韓国史」が論争の出発点だ。ここには、例えば、日本による植民地支配によって韓国が近代化した、李承晩(イ・スンマン)大統領は最も信頼された大統領で国民的英雄だ、などと書かれている。前者は日本の右派が主張する内容そのものであり、後者は分断の責任と北側の人々を完全に無視した内容になっている。

「教学社版韓国史」はさらに朴正熙(パク・チョンヒ)大統領を「不世出の英雄」と賛美し、軍事クーデターを「合法的な革命」と呼んで独裁政権時代を経済発展の原点として賞賛する歴史修正主義の立場を取っている。2001年、日本で検定に合格した「新しい歴史教科書をつくる会」主導の「扶桑社版日本史」と酷似した歴史観とあっていい。朴槿恵(パク・クネ)大統領は、現行教科書は恥ずかしい、国民として誇りを持つ歴史教育が必要だと繰り返している。歴史上の過ちを正す立場を「自虐史観」と呼んで国民の誇りを取り戻そう主張した日本の右派と見事に合致している。

右傾化教科書の検定合格に対する世論の批判が高まると、与党からは他の教科書への攻撃が始まった。いわく、こどもたちは左翼思想を押し付けられている、国家に対する信頼を学んでいない、などなどだ。そしてついに朴槿恵大統領は中高の歴史教科書を検定制度から国定教科書制に変更す

ると宣言した。民主化によって新たにスタートした韓国の歴史を逆戻りさせるような事態が進んでいる。韓国政府は、国定教科書は植民地を賛美しないし民主化を肯定する内容だと言ってはいるが、未だに執筆陣も明らかにされていない。

もちろん反対する声は日に日に高まっている。歴史学者の多くは国定化に反対し、執筆拒否を宣言する歴史家の数も増えている。教会関係からも国定化反対の声明が相次いでいる。大韓聖公会の司祭たちも次のように国定化反対を宣言した。「国家が決める歴史が正しく他は間違っているという立場は日本が進める歴史歪曲と同じ」であり、「現政権と既得権勢力にとって有利な記述」にしようとする意図がある。そして「青少年が人間の尊厳、正義と平和を追い求める歴史こそが誇らしいことを学び、民主主義と平和統一を目指す世界観を形成すること」を願うと。

国定化反対運動の中でひとときわ目を引くのが中高生だ。自分たちが学ぶ教科書だからと生徒たちは独自の集会を開きデモに参加している。プラカードを持って街頭に立つ「ひとりデモ」を行う生徒もいる。もちろん大学生の反応も活発だ。多くの大学で学生会が国定化反対を決議している。日本の安保法制反対、米軍辺野古基地反対の中にも多くの若者がいる。若者は、今この時を担う責任ある主体なのだ。

(かやま ひろと 千住基督教会牧師 東京教区司祭)



猪飼野の風景

今は「コリアタウン」と呼ばれている猪飼野(いかいの)は日本書紀にも出てくる古い地名です。韓流ブームと共に観光客が来るようになり「嫌韓」にもかかわらず、今でも多くの人が訪れます。11月には「生野コリアタウン祭り」が毎年開催されるようになりました。

今年は猪飼野の風景を描いた金斗鉉(キム・ドウヒョン)さんのすばらしい絵画展が開催され、地元の「親父バンド」、済州島からの舞踊チーム、そして日韓の海女文化を比較知る写真展、シンポジウムと多彩な催しがありました。



クリンもだん 美術教室

金 文男



クリンもだん美術教室は、毎週水曜日の6時半から8時半まで油絵を主に制作し、美術展で発表することを楽しみに作品制作を頑張っています。

土曜日は1時半から3時半まで精神障がいの人と発達障がいの人たちと美術作品作りを楽しんでいます。

また、毎月第一・第三日曜日はアートサークル

として特別支援学校の美術の先生が主となって生徒と卒業生と一緒に作品を作っています。

この度、デイサービスの利用者のかたの作品も含めて発表する場を作っていきたいと願っています。

(キム・ムンナム クリンもだん美術教室講師)



戸惑いや不安などを感じつつの生活になります。そういう子ども達の不安定な心情に寄り添いながら少しでも心を癒し、安定させていくことがいかに大切かを

実感しつつ、日々向き合っています。そういう経験から、デイサービス事業についての雑感を書いてみました。

デイサービスを利用する人たちも、また、さまざまな思いを抱え、不安と向き合いながら日々過ごされていると思います。この生野センターのデイサービスでは、音楽や絵画、将棋、囲碁などのプログラムを提供していますが、利用者の皆さんが自由に参加して楽しむことができ、また自身自身のリズムでゆったりと自由に過ごす休息の場

障がい者 デイサービス

I.K

私が聖公会生野センターのデイサービス（障がい者）事業に、土、日曜日限定の非常勤職員という立場で、関わるようになってから約4年になります。長いようで短く感じられたこの歳月ですが、デイサービス利用者との交わりを通して、いろいろ経験し多くの事を学ぶことのできた貴重な4年間でした。

私はこのデイサービスの仕事に就く前は、さまざまな事情から家庭で養育を受けられない子ども達への代替的養護を実践する児童福祉施設において、保護された子ども達の入所理由に関する解決支援などの仕事を長年行ってきました。

保護された子ども達は、さまざまな問題を抱えながら親と離れて施設で生活するのですが、当然

としても利用して頂いています。

そして、この「自由」という事を尊重し見守るという活動姿勢こそが、利用者おひとりお一人に、心の安定や癒しの実感をもたらしているのではないかと、それがこのデイサービスが利用者へ受け入れられている大きな理由の一つではと思います。

また、直接利用者に関わるスタッフも、経験からくるさり気ない気配りと配慮で利用者へ寄り添うことで、利用者への活動内容を安心な形で提供できていると思っております。

心の癒しと共に、身体の癒しに繋がる食事サービス活動も、利用者の皆さんには好評を得ております。利用者の皆さんに少しでも喜んでもらえるよう、また、栄養バランスに配慮した食事提供を行うために調理スタッフは常に工夫と努力を重ねており、その結果、利用者の方々より「美味し

い」という言葉をよく頂戴します。

食事を美味しく食べられることは、心に安らぎを与え豊かな気持ちにさせてくれます。このデイサービスも利用者へ心の安らぎを与え、こころ豊かに自身の生活が成るよう、また、一般社会の接点としての大切な役割を担っています。その役割をより一層充実させ、質の高い役割を果たしていくためには、常に努力をしていかなければなりません。このデイサービスのスタッフには事業を高める意識と力量が十分あると感じております。

大きな可能性を秘めた生野センターデイサービス事業に、今後もしっかりと関わり続け、私なりではありますが貢献していきたいと願っております。(デイサービスセンター スタッフ *本人の希望によりイニシャルにしました)

こみち寄席

笑福亭 仁嬌



聖公会生野センターで第1回こみち寄席が開かれたのは1992年9月18日でした。年に6回奇数月に開催し次回2015年11月16日が第140回の記念の会になります。23年です。地域寄席を続けていくにはお越しいただくお客様はもちろんですが、お世話をさせていただくスタッフさんの心意気も必要です。

我々噺家は一席でも多くお客様の前でやりたいですから有り難い事です。長い間続けているとお



お客様の少ない時もありましたが今は毎回沢山の皆様にお運びいただいております。地域に定着したなあと感じております。わたしは出演者の世話方として毎回出してもろてます。一回も休んでまへん。すごい？暇？他に仕事ないのん？いやいや他の仕事を断って毎回来ております。

基本的に落語三席講談一席です。わたし以外に噺家が二人ですが、時々のお出番なんて得意ネタをやれますが、わたしは毎回の出番ですからそうはいきません。久しぶりにやるネタやネタおろし

(初演)の時もあります。けど毎回出番の世話方として他の囃家に負ける訳にはいきませんので、気合もはりますし稽古も致します。(当たり前や)

また、こみち寄席のお客様は常連の方が多いんですが誠にいいお客様で、他の会よりよお笑ろて

在日高齢者の憩いの場

のりばん

伊藤 美佐子

“のりばん”は聖公会生野センターの日常プログラムのひとつとして、2004年7月、移転前の生野センター近くの民家を借りてスタートした在日コリアン高齢者の昼食サービスです。生野センターは1992年、在日韓国・朝鮮人と日本人、さらに韓国と日本との、イエス・キリストにおける和解と共生を願って聖ガブリエル教会の復興とともに発足しました。はじめは水曜日だけでしたが、活動の発展にともない手狭となり、2008年3月今の場所に移転し、月・水・金と週3回のサービスが行われるようになりました。

現在、のりばんはオモニたちとひとりのアボジが利用し、毎回20人ぐらいが集ります。都合の良いときに来て、帰りたいときに帰ります。

朝9時に来て午後3時までいる人。12時前に来て食事とコーヒー・デザートを食べ1時に帰る人。食事後おしゃべりし、韓国ドラマをゆっくり見る人。それぞれが午前9時から午後3時までの時間を自由に過ごします。

昼食は二人のスタッフとボランティアが準備し

くれはります。前座からうけるんですから、有り難いすなあ。やっぱりよう笑っていただきますと嬉しいですし自信にもなります。たまたまこみち寄席に来てくれはった方が落語に興味を持ち繁昌亭へもお運び頂いてます。

これからも落語通の常連さんや初めて生で聞く方や老若男女の方々に笑って頂けるよう笑進みます。どうぞ、お運びくださいませ。

(しょうふくてい にきょう 落語家)



ます。韓国料理が中心で、先日のメニューは海鮮チゲとナムル(3種類)とキムチでした。ナムルのひとつが、とうがらしの葉のナムルでした。自分では食材として使わないので、珍しくてとても美味しかったです。このとうがらしの葉は、利用するオモニが育てたもので、食材としてののりばんに持って来られるまでには、てまひまがかかったそうです。食事中はとても静かで、食事が終わってお菓子とコーヒーを楽しむ頃には、いくつかの話の輪がひろがり、とても賑やかになります。毎月1回お誕生日会があります。いつもよりもちょっとごちそうになり、デザートはお餅ケーキです。みんなで「センイルチュカハムニダ、センイルチュカハムニダ、・・・・・・」とお誕生日の歌を歌い、誕生月の人が、笑顔でお餅ケー

キの上に立てられたロウソクの火を消します。お餅ケーキの大好きな私は、その日がボランティアになることを願っています。

のりばんの帰り道、大阪府知事、大阪市長ダブル選挙のポスターが貼ってあるのを見ました。あるオモニの「はじめて選挙に行き投票した。」ということばを思い出しました。それは韓国の選挙制度が大きく変わり、韓国籍を有する在日コリアンについては、2012年4月に実施された国会議員選挙から投票が認められるようになり、はじめて投票行かれたのです。日本では、国政参政権、地方参政権ともに日本国籍保持者にしか認められていませんから、日本国籍をもたない在日コリア

ンは、今日まで参政権を行使したことがありません。ですから11月22日に行われる大阪のダブル選挙の参政権はありません。ずっとこの大阪市生野区で生活している特別永住資格の在日コリアンに参政権がないのは理不尽なことです。

食事ボランティアとして“のりばん”に関わるようになってから10年が過ぎました。当初は、ここに来て何かをしなければならぬという気負いがあったように思うのですが、今は、美味しい韓国料理を食べて、韓国ドラマを見て、オモニ・アボシたちと一緒に楽しく過ごしたいと思っています。生野センターそしてのりばんで出会う人との交わりは、これからも大切です。

(いとう みさこ 京都聖ステパノ教会)

韓国語教室

朴 英美

私は聖公会生野センターで韓国語を担当して4年目になります。きっかけは呉光現さんとあるシンポでお目にかかり、「韓国語を教えてください」と自己紹介したことでした。

何ヶ月か後に呉さんから「先生が一人辞めるので来てもらえませんか？」と連絡を頂き、私は二つ返事でOKしました。実はずいぶん経ってから気づいたのですが(自分でも本当に鈍いなと思いましたが・・・)聖公会生野センターで韓国語講座が始まり、生徒募集のチラシが入っていたので早速電話したんです。「生徒ではなく先生は募集していないんでしょうか？」と！でもあっさり断られました。「間に合ってます」とおっしゃったかどうかは忘れましたが。



そして開講日に来てみて正直びっくり！クラスの多さ、人数の多さに内心“細々”としているのではと思っていましたので(ゴメンナサイ)。そして皆さん、和気あいあい「私たちは仲間だ！」というオーラでいっぱい、何よりも皆さんの熱気に圧倒されそうになりました。でもすぐに、こんなにも熱心に韓国語を学ぼうとする人たちがいるのだと、本当にうれしくなり、その熱意に少しでも答えないと心を引き締めたのを覚えています。

このあたりでウリクラスを紹介しないといけま

せんよね。現在6名で皆さん個性派ぞろいの本
当に楽しいクラスです。まずいろいろなことでお
忙しく欠席しがちにもかかわらず“継続は力な
り”と10年以上続けてくださっている方。授業
後の飲み会が目的(?)だった方が急にすごく一
生懸命取り組み始め、会話力がドンドン伸び出
している方。ヨン様ひとすじファンで、ペラペラ
しゃべりたいという意欲満々な方。“書”の力で
韓国のみならず東アジアの国々の相互交流を深め
る役割を担おうと広大な夢を持っている方。独学
で学んできた力を、ただひたすら真面目に一生懸
命取り組んで、会話力に生かしレベルアップして
いる方。とてもスムーズに会話ができるようにど
こまでも謙虚なマドンナ的な存在の方。もう一人
は今はお休み中ですが自分なりの工夫をして3年
で流暢に話せるようになった方もいらっしやいま
す(早く戻ってきてください)。

この6名で授業をしています、私のモットー
は「楽しく!会話力アップ!」です。ただ教科書
を読み、説明を聞くだけでは会話力はつきませ
ん。とにかく声を出して発してもらうために私が
質問するのはもちろん、1週間のトピックを話し
てもらいそれに対して質疑応答をしてもらったり
しています。

私の口ぐせは「ポジマセヨ(見ないでくださ
い)」です。本から目を離すと意外にもシドロモ
ドロになるんです。一度試してみてください。と
ころが「楽しく!」と言っておきながら授業をし
ているうちに私が熱くなってしまい、こだわった
り、同じことをしつこく繰り返してしまったりし
て、生徒さんたちは時には難しかったりおもしろ
くなかったりしていると思いますが、そんな時ク
ラスの方々明るさや楽しさに私が助けてもらっ
ています。ひょっとすれば私が一番楽しみ、笑っ
ているのでは?私の大きな笑い声に隣のクラス
の方々、相当我慢してくださっているのではあり
ませんか?ミアネヨ〜。

私は在日ですが、それ故に韓国語を習得する過
程でご多分にもれず苦勞をしました。発音の難し
さには本当に参りました。一生懸命話しても通じ
ず、なぜ通じないのかがわからず、どれほどもど
かしかったか!だから生徒さんたちの気持ちがよ
くわかります。なので私の経験が少しでも役に立
つならばとという気持ちでいっぱいです。これか
らも生徒さんたちのレベルアップの為に、もっと
創意工夫・研鑽していこうと思っています。
韓国語サランヘヨ〜。韓国語を学んでくださっ
てるの方々、サランヘヨ〜。(パク ヨンミ 韓
国語教室講師)

聖公会生野センターへのご支援をお願いします

- ◇正会員 年額 1口 10,000円
- ◇後援会員 年額 1口 3,000円から
・郵便振込 00910-1-321780 「聖公会生野センター」
- ◇自由献金・クリスマス献金
・郵便振込 00910-1-321780 「聖公会生野センター」
・銀行振込 三菱東京UFJ銀行 東大阪支店
普通預金 4654965 「特定非営利活動法人聖公会生野センター」

発行所：聖公会生野センター

〒544-0002

大阪市生野区小路3丁目11番19号

TEL 06-6754-4356 / FAX 06-6224-7856

E-Mail nskkikuno@gmail.com

<http://www.nskk.org/province/ikuno>

発行人：磯 晴久

編集人：呉 光現